

IBM が WebSphere Developer for zSeries によりエンタープライズ開発者向けツール製品での Web サービス・サポートを強化

CCR2 2005 年 8 月号

現在、IBM zSeries® 開発者コミュニティでは、IBM WebSphere®、CICS®、および IMS™ のトランザクション環境で展開する、ハイ・パフォーマンスな複合アプリケーションを構築するためのツール・リソースを強化しています。IBM WebSphere Developer for zSeries V6.0 には、従来のメインフレーム開発、Web 開発、Web サービス開発、統合開発を、より迅速かつ効率的にする機能が組み込まれています。COBOL および PL/I、Java、そして EGL の開発者コミュニティもこの機能を利用して、生産性の向上を図ることができます。

WebSphere Developer for zSeries V6.0 は新たな業界標準をサポートします。この製品を利用することにより、機能豊富な Web ユーザー・インターフェース、従来の端末インターフェース、および CICS、IMS、バッチおよび WebSphere トランザクション環境に展開可能なバックエンド・ビジネス・ロジックの開発を単純化できます。さらに、J2EE や Java を使い始めたばかりの開発者でも生産性を向上できるツールが組み込まれ、高機能の Web ユーザーおよびセッション管理を用いた Web サービス経由で IBM eServer zSeries の処理を統合できます。

IBM WebSphere Developer for zSeries は IBM WebSphere ソフトウェアと zSeries が展開された環境に合わせて最適化されており、マルチベンダー・ランタイム環境をサポートします。この機能は Eclipse オープン・ソース・プラットフォームを基にしているため、開発者は開発環境を自分のニーズに合わせて適合および拡張し、生産性を向上させることができます。

WebSphere Developer for zSeries を IBM Software Development Platform と併用すると、開発者は、変更管理やテスト機能などの幅広い要件に合わせて拡張できます。これらの機能は WebSphere Developer for zSeries デスクトップから直接使用できます。WebSphere Developer for zSeries V6.0 は、WebSphere Studio Enterprise Developer V5 の後続製品です。

- WebSphere Developer for zSeries の概要

WebSphere Developer for zSeries では、次のことを行うことができます。

- 以下の開発を迅速化する。
 - ・ Java および J2EE を含む動的 Web アプリケーション
 - ・ 従来の COBOL および PL/I アプリケーション
 - ・ 高水準レベル Enterprise Generation Language (EGL) アプリケーション

・これらのアプリケーションをまとめて統合する Web サービス

- ストアード・プロシージャを介して、WebSphere、CICS、IMS、バッチ、および DB2 などの複数のランタイムに展開する。
- 既存のスキルを活用し、高水準レベル Enterprise Generation Language を使用することで、Web または COBOL アプリケーションをコーディングする（オプションの EGL for COBOL Extension 機能が必要）。
- 変更管理などの幅広いプラグインにより、開発環境を適合および拡張する。
- ビジュアルな環境でポートレットを作成およびテストする。
- UML Visual Editor を利用して、J2EE コードを視覚化し、グラフィカルな編集をする。
- WebSphere アプリケーションのためのパフォーマンス・プロファイル作成およびトレース・ツールを利用して、パフォーマンス上の問題を早期に検出する。
- CICS および IMS Web サービス・ベースのアプリケーション用エンタープライズ COBOL XML アダプターを生成する。
- Web サービスのテストおよび展開に使用する WSDL および Java Bean を生成する。
- CICS Service Flow Modeler のテクノロジー・プレビューを提供する。
- ワークステーション・ベースのアプリケーションの理解および影響分析用ツールのテクノロジー・プレビューを提供する。

- IBM、AIX、WebSphere、MQSeries、AS/400、DB2、DB2 Connect、DB2 Universal Database、MVS、CICS、z/OS、zSeries、iSeries、pSeries および OS/390 は、IBM Corporation の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。
- UNIX は、The Open Group がライセンスしている米国およびその他の国における登録商標です。
- Action Media、LANDesk、MMX、Pentium および ProShare は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。
- Solaris、Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- HP は Hewlett-Packard Development Company, L.P. の商標です。
- Intel、Intel Inside (logos)、MMX、Itanium、および Pentium は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。
- Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。
- 他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。